



Change and Innovation 3.0
For a Sustainable Future

住友化学 個人投資家向け説明会

2019年9月3日

 SUMITOMO CHEMICAL

(証券コード : 4005)

目次

Change & Innovation 3.0 For a Sustainable Future

I 会社概要

II 中期経営計画

III 各事業の紹介

IV 持続可能な社会に向けた取り組み

V 株主の皆様との夢の共有

I

会社概要

- 当社の株主構成
- 住友化学の現状



社長

岩田 圭一

本社

東京本社(東京都中央区)

大阪本社(大阪市中央区)

従業員

32,542人(2019年3月末)

関係会社

連結子会社 184社

持分法適用関連会社 32社

売上収益

23,186億円(2018年度実績)

親会社の所有者
に帰属する
当期利益

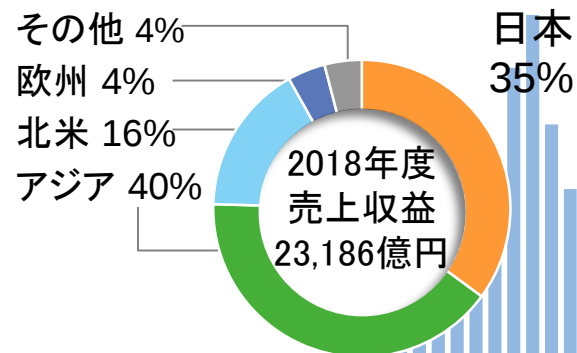
1,180億円(2018年度実績)

総資産

31,716億円(2019年3月末)



地域別売上収益比率



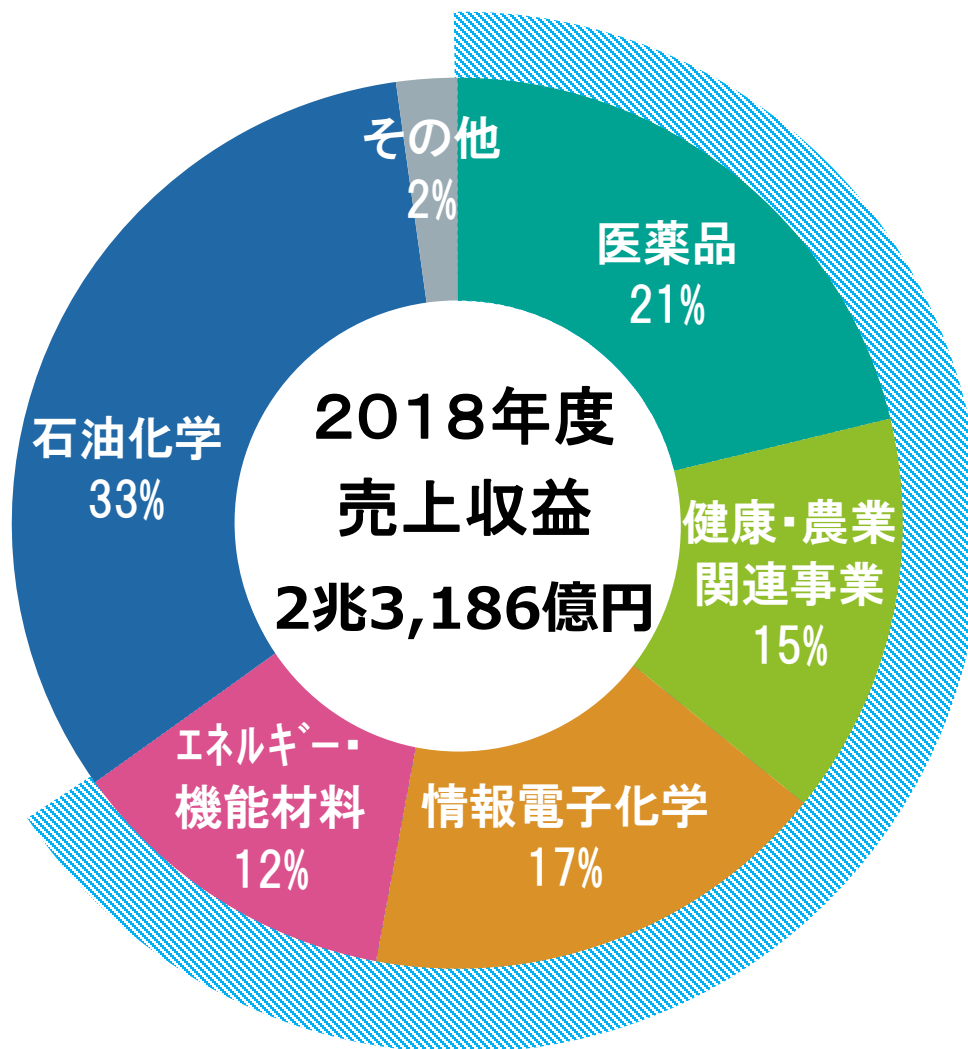
(連単) 1978年度以降:連結 1977年以前:単独



ポリエチレンなどの
多様な石油化学製品



電池材料（セパレータ）



スペシャルティケミカル

SUMITOMO CHEMICAL



医療用医薬品

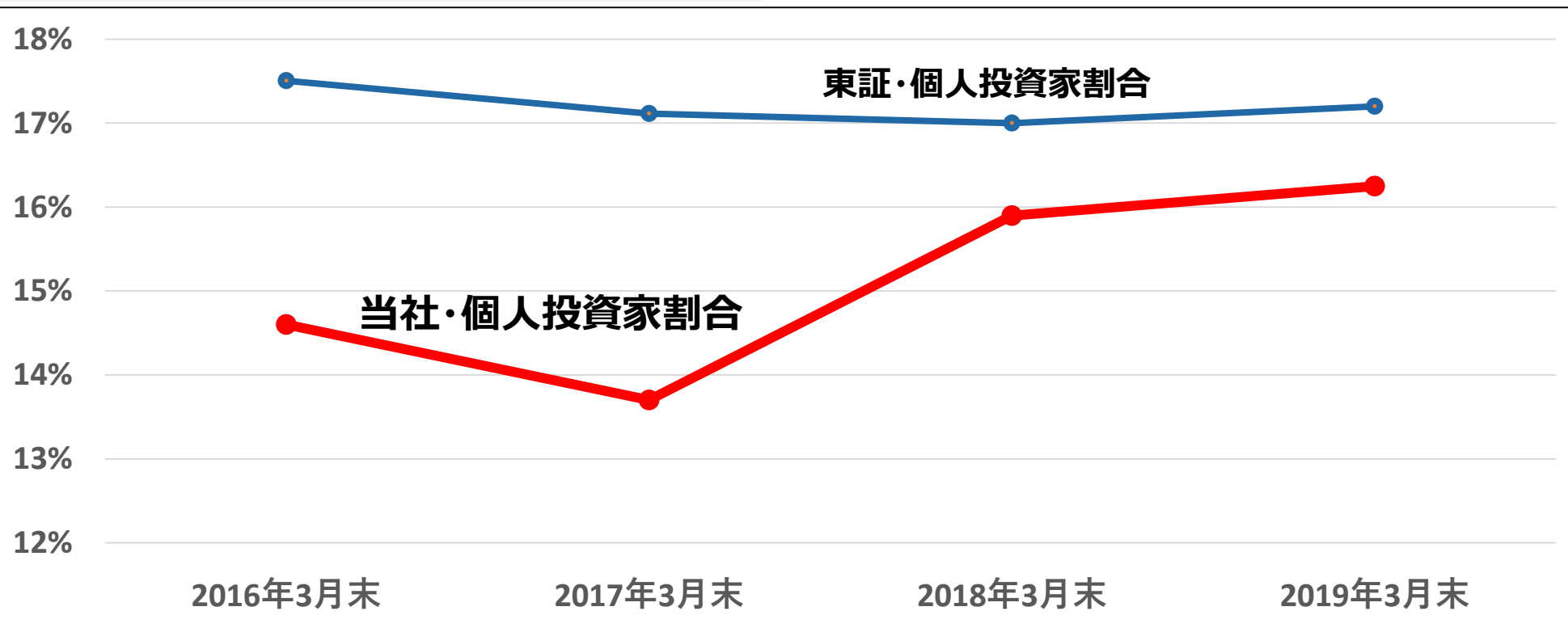


農業用殺菌剤・殺虫剤



ディスプレイ関連部材

株主構成の変遷



当社個人株主の株主保有期間別分布（人数ベース）

データは2019年3月末現在

	3年未満	3年以上～10年未満	10年以上
割合	34%	12%	54%

Ⅱ

中期経営計画

- 基本方針
- 経営目標
- 設備投資
- 財務指標
- 配当方針

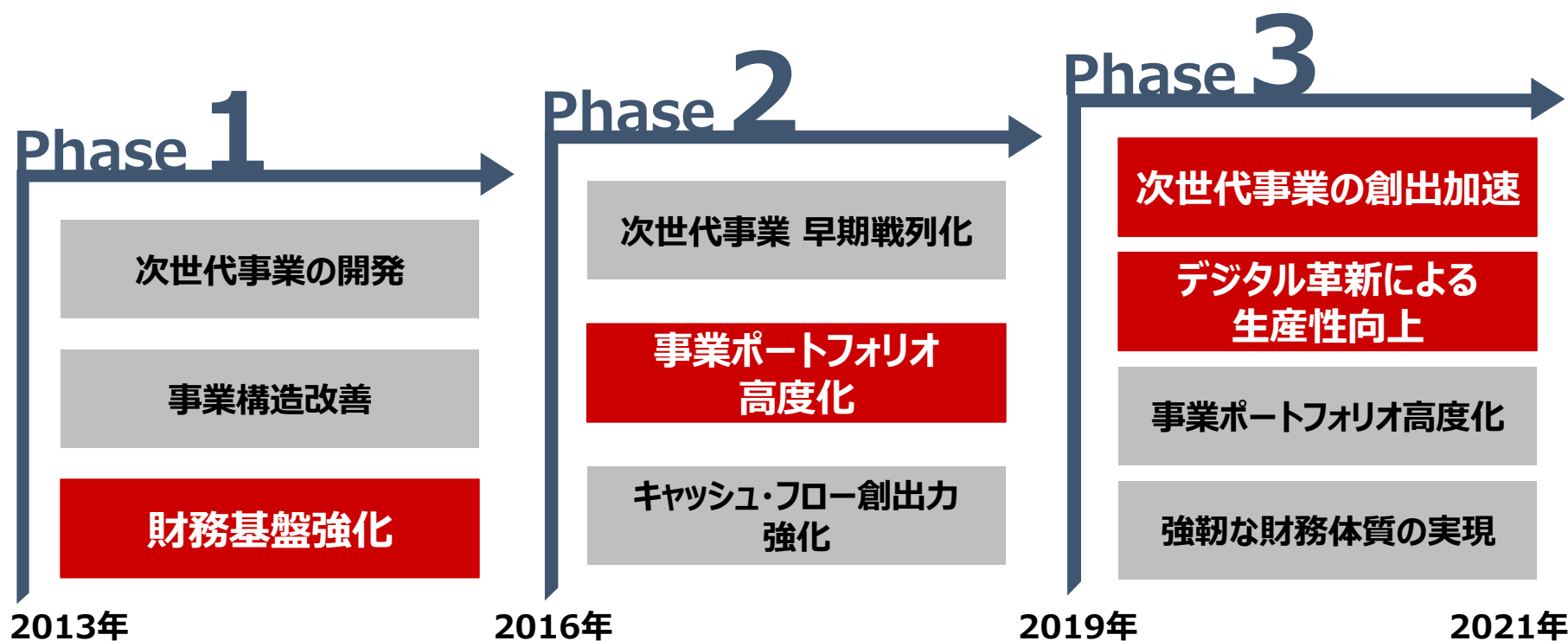


Change & Innovation

For the next hundredth anniversary

Create New Value

For a Sustainable Future



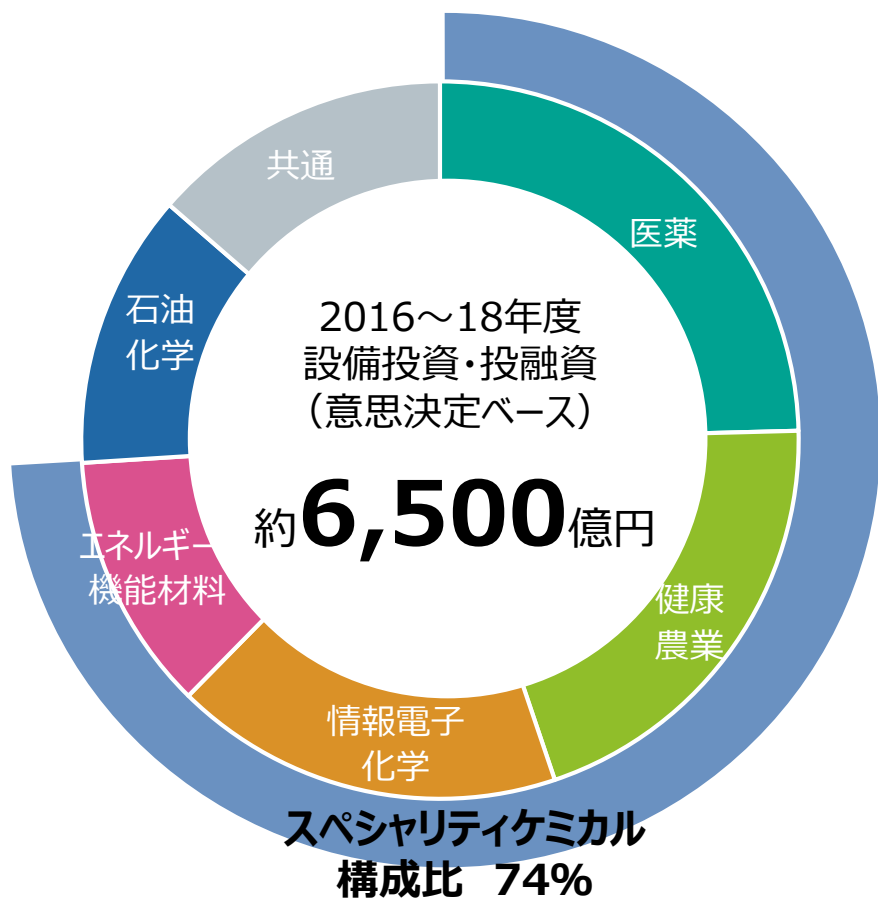
(単位：億円)

	2015年度 実績	2018年度 実績	2021年度 計画	差異 (2018→2021)
売上収益	21,018	23,186	29,500	+6,314
コア営業利益	1,712 [*]	2,043	2,800	+757
営業利益 (IFRS)	-	1,830	2,600	+770
親会社の所有者に 帰属する当期利益	815	1,180	1,500	+320

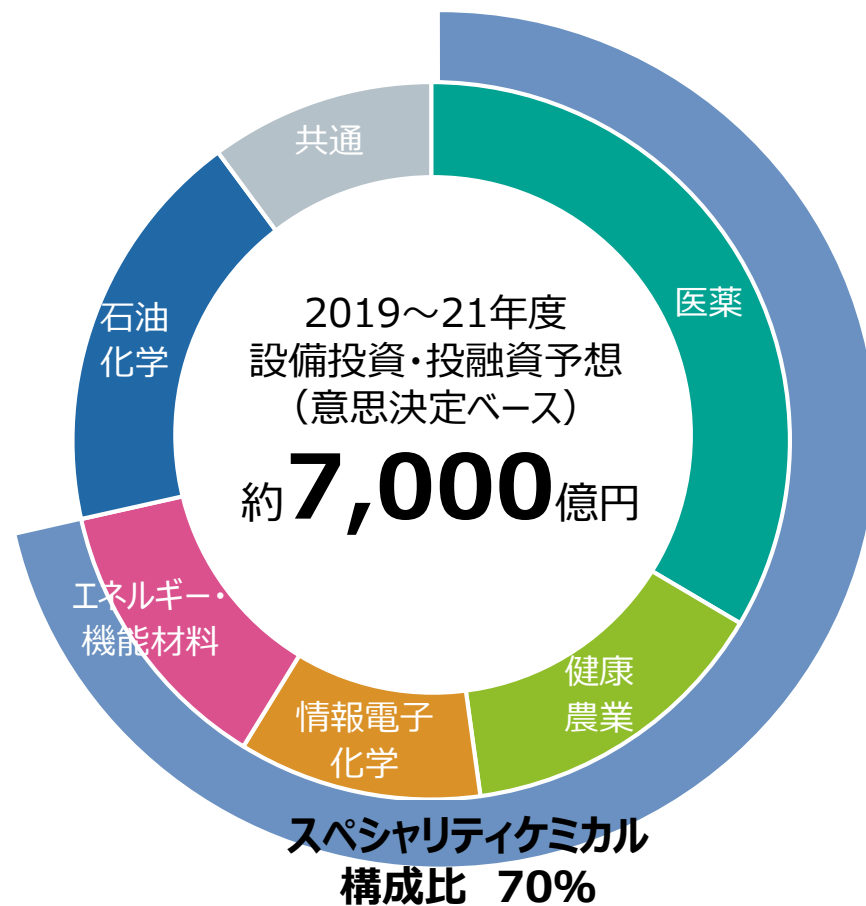
*2015年度は経常利益を記載

	2015年度 実績	2018年度 実績	2021年度 中期計画	目指す姿 以下を安定的に達成
ROE	9.6%	12.3%	12.5%	10%以上
ROI	5.6%	7.3%	7.1%	7%以上
D/Eレシオ	0.8倍	0.6 倍	0.7 倍	0.7 倍程度
配当性向	31%	30%	—	30%程度
利益成長 ※1	—	—	13%	年7%以上

※1 2015年度からの当期利益(親会社株主帰属)の年率成長率

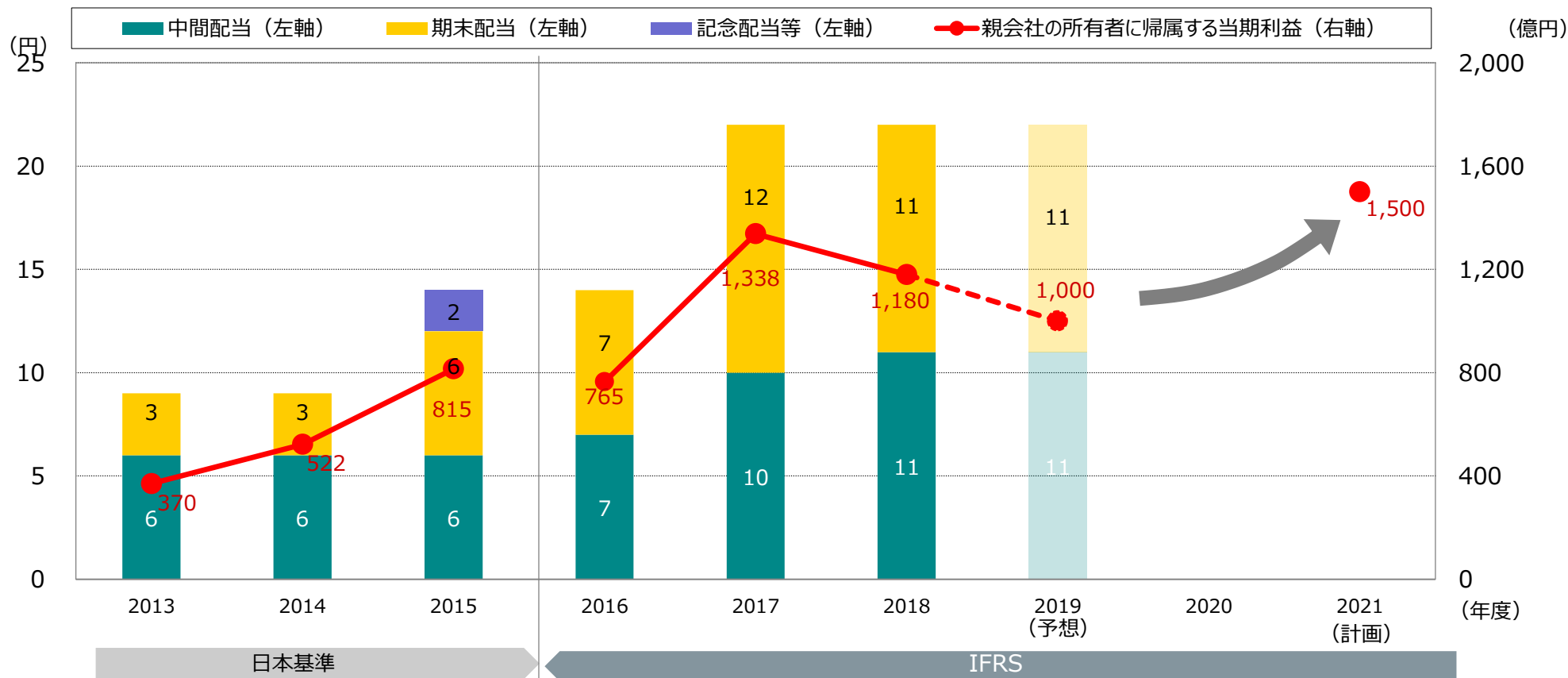


2016－2018
中期経営計画



2019－2021
中期経営計画

株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、**安定的な配当を継続することを基本**としております。中長期的には**配当性向30%程度**を安定して達成することを目指しております。



配当性向	40%	28%	28%	30%	27%	30%	36%
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

III

各事業の紹介

- 健康・農業関連事業部門
- 医薬品部門
- エネルギー・機能材料部門
- 情報電子化学部門
- 石油化学部門



研究開発力を基盤に、世界の食糧、健康・衛生、環境問題の解決に貢献します。

重点的に取り組むSDGs



主要な製品・事業

農薬/肥料/農業資材/家庭用・防疫用殺虫剤/熱帯感染症対策事業関連製品/飼料添加物/医薬化学品等



肥料・農薬



飼料添加物(メチオニン)



コメ事業

コメ事業の概要

住友化学グループの役割

種子提供

農薬・肥料 提供

土壌分析・栽培指導・履歴管理等サービス 提供

全量買取
・販売

販売先

外食産業
コンビニ
等

コメの生産（委託・契約産地）



新品種の開発・提供（DNAマーカーを使った高速育種技術） ※遺伝子組み換えではない

従来の育種法

新品種育成期間 10～15年



品種A

良食味



品種B

多収

新品種C

多収で良食味



DNAマーカー育種法

新品種育成期間 3～5年



品種A

良食味

マーカー



品種B

多収

マーカー



研究開発を基盤とした創薬により、
人々の健康で豊かな生活を支えます。

重点的に取り組むSDGs



主要な製品・事業

医療用医薬品/放射性診断薬等



医薬品



PET検査

精神神経領域、がん領域

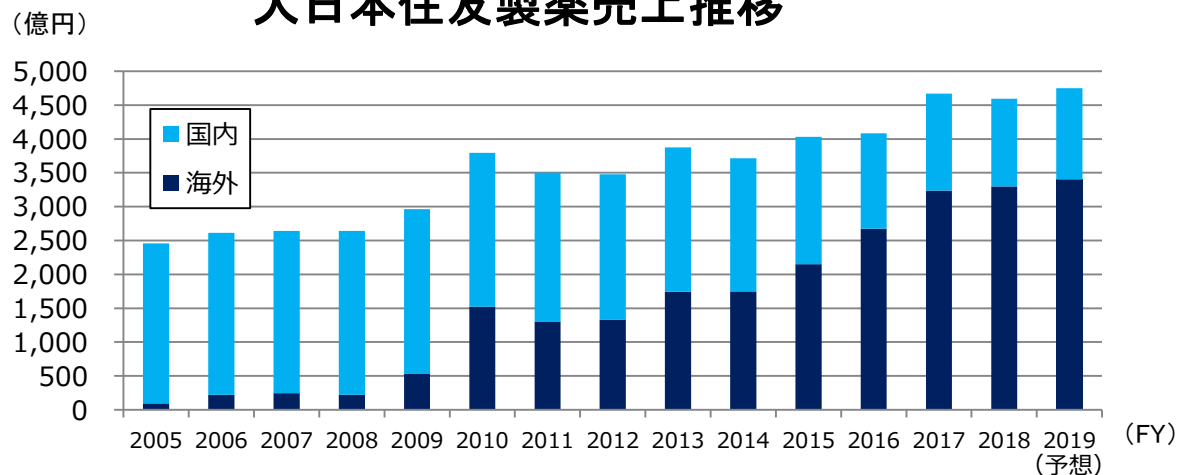
ラツーダ
(非定型抗精神病薬)
米国で販売



トレリーフ
(パーキンソン病治療薬)
日本で販売



大日本住友製薬売上推移



再生・細胞医薬分野

再生・細胞医薬分野の事業化計画

慢性期脳梗塞 加齢黄斑変性
パーキンソン病 網膜色素変性
脊髄損傷 腎不全

再生・細胞医薬製造施設 (SMaRT)

2018年3月稼働開始



長期的な視点での研究開発と
その成果である革新的な技術により
環境・エネルギー問題の解決に貢献します。

重点的に取り組むSDGs



主要な製品・事業

アルミナ製品/アルミニウム/化成品/添加剤/染料/合成ゴム/
スーパーエンジニアリングプラスチック/電池部材等



電池部材



スーパーエンジニアリングプラスチック



レゾルシン

電気自動車用の電池・部材への要求

ユーザーニーズ

走行可能距離の
長距離化（電池
の高容量化）

高容量電池の特性

充電・放電時の
エネルギー容量
が高い

部材への要求

安全性確保

アラミドコーティングセパレータの優位性

耐熱性
（安全性）
が高い

軽量

粉落ち
が少ない

住友化学 セパレータ

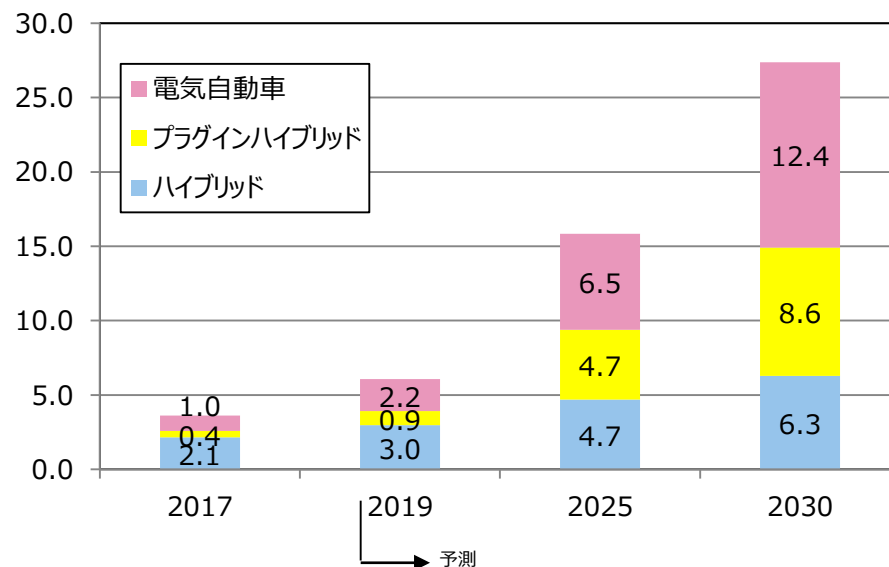


リチウムイオン二次電池



エコカーの市場推移

数量（百万台）



（出所）富士経済「エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望 2018
一次世代環境自動車分野編」

電気自動車メーカー 高級EV



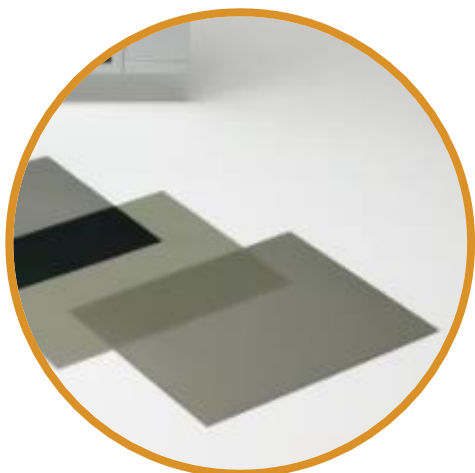
素材開発と擦り合わせ技術の融合により、
情報通信技術の変化に対応した新たな
価値を提供します。

重点的に取り組むSDGs

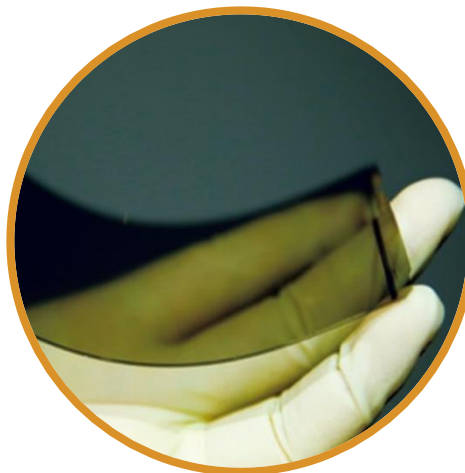


主要な製品・事業

光学製品／カラーフィルター／半導体プロセス材料／化合物半導体材料／
タッチセンサーパネル等



偏光フィルム



タッチセンサーパネル



半導体プロセス材料

CASE (コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化) 時代を見据え、 自動車産業の革命を担う部材開発に注力

石油化学部門

樹脂

- PMMA
- GFPP※

前面窓・ルーフ部材



PMMAベースの透明樹脂を開発



革新的研究開発推進プログラム
IMPACT
Impulsing Paradigm Change through Disruptive Technologies Program

※ガラス繊維強化ポリプロピレン

エネルギー・機能材料部門

スーパーエンブラ

- PES
- LCP

電池部材

- セパレータ
- 正極材
- 高純度アルミナ

情報電子化学部門

センサー

- VCSEL用エピウェハ

ディスプレイ部材

- 高耐久偏光フィルム
- 高耐久タッチセンサー
- 有機EL発光材料

高速大容量

低遅延

多数同時接続

携帯電話サービスの向上にとどまらず、
自動運転や遠隔医療など、ビジネス領域が飛躍的に拡大

当社の5G関連部材

- **LCP**（5G通信用 高周波基板材料）
- **GaNエピウェハ**（5G通信無線基地局）
- **GaAsエピウェハ**（5G端末）

電池・ディスプレイ関連部材

- ・OLED用偏光フィルム・タッチセンサーパネル・フレキシブルディスプレイ部材
- ・VCSEL用エピウェハ・セパレータ・正極材・アルミナ



高付加価値製品を通じた顧客への
新たな解決策を提供します。

重点的に取り組むSDGs



主要な製品・事業

石油化学品/無機薬品/合繊原料/有機薬品/合成樹脂/メタアクリル/合成樹脂加工製品 等



ポリプロピレン



ポリエチレン



メタアクリル

サウジアラビア

特徴

安価原燃料によるコスト競争力の高い収益拠点



日本

特徴

マザー工場・マザー研究所として技術・製品・ノウハウの発信拠点



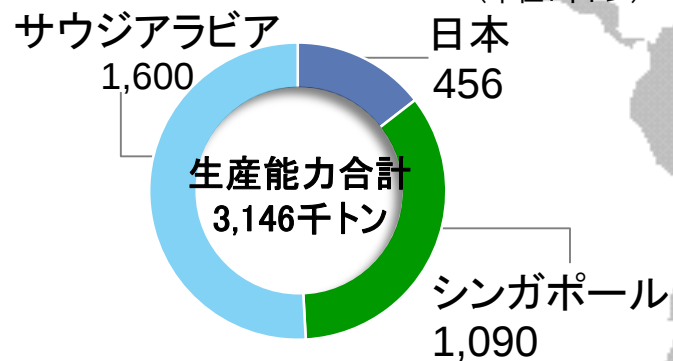
シンガポール

特徴

優良顧客を有する高付加価値戦略の拠点

拠点別エチレン生産能力

(単位: 千トン)



コスト優位の確立と資産効率改善に注力

資本コストを上回る収益力を目指す

IV

持続可能な社会に 向けた取組み

- 住友化学のDNA
- MDGsへの貢献
- SDGs推進活動
- ESG



住友の事業精神

営業の要旨

第1条

わが住友の営業は信用を重んじ確實を旨とし、
もってその鞏固隆盛を期すべし。

第2条

わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、
いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

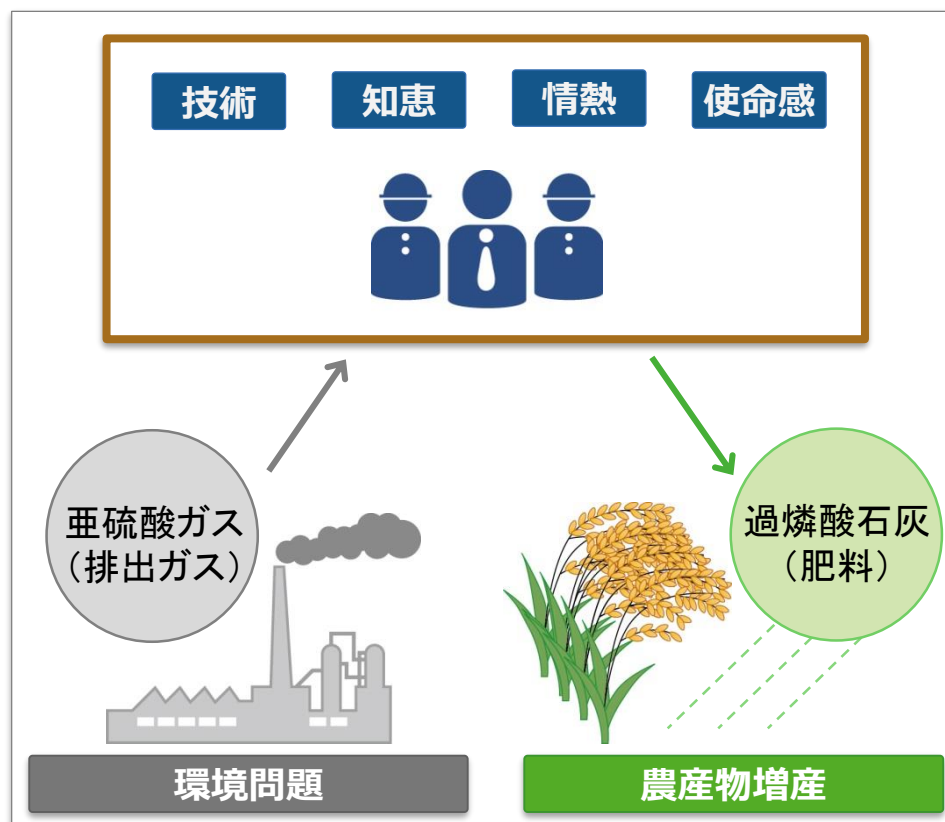
自利利他 公私一如

(じりりた こうしいちによ)

事業は自ら利益を得るものであるとともに、
社会に対しても利益あるものでなければならない

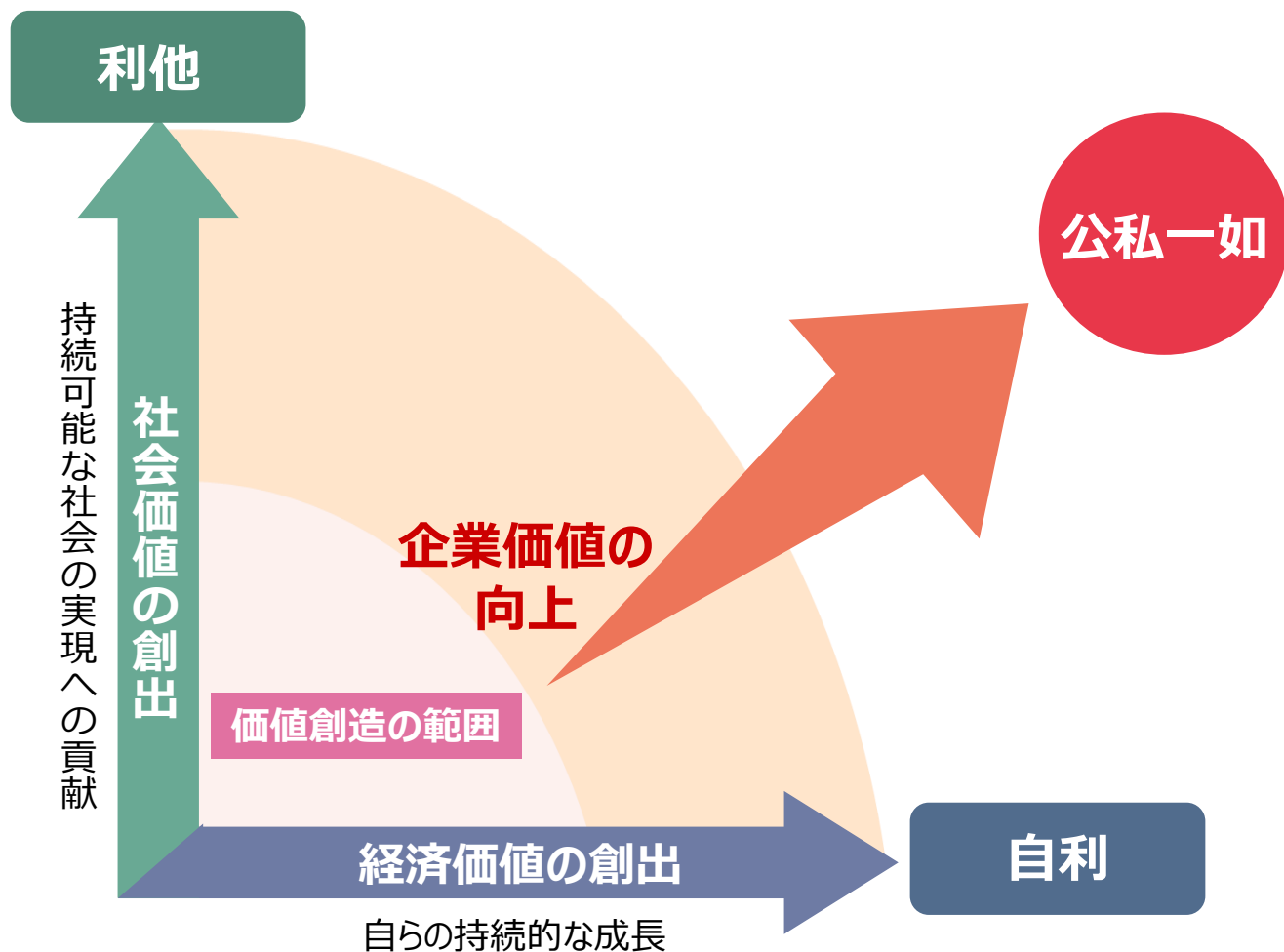
住友化学の始まり

1913年、銅の製錬の際に生じる有害な排出ガスから
有益な肥料を製造し、煙害問題の解決に取り組み環
境問題の克服と農産物の増産をともにはかることか
ら誕生しました。

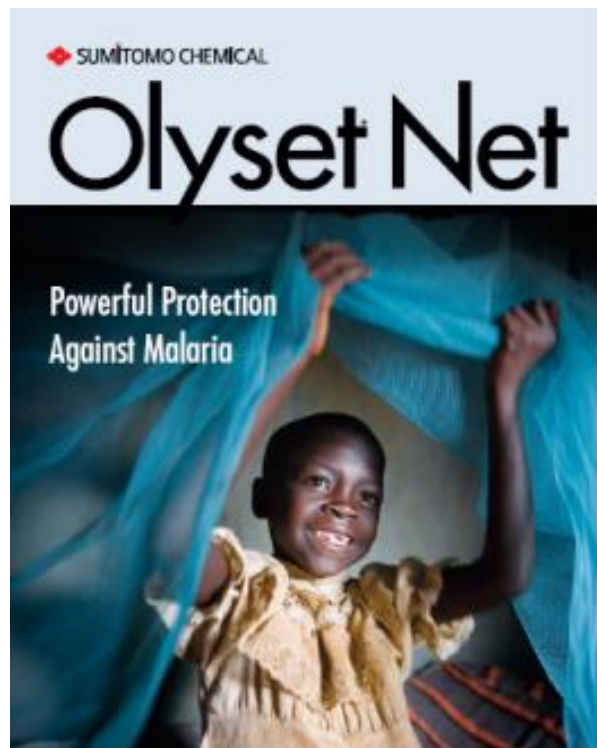


自利利他 公私一如

住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、
かつ社会を利するものでなければならない



初の長期残効型蚊帳LLIN
(Long Lasting Insecticidal Nets)
としてWHOから推奨



感染症対策

マラリアによる死者数が2000年から半減。
救われた命は
累積620万人

統合的 解決

雇用・ ジェンダー平等

現地生産により7,000
人の雇用を創出！
女性の就業環境整備。

3 すべての人に
健康と福祉を



13 気候変動に
具体的な対策を



8 働きがいも
経済成長も



5 ジェンダー平等を
実現しよう



教育支援

収益の一部で教育支援。
アフリカ12か国で
総受益者数
21,000人超。

4 質の高い教育を
みんなに

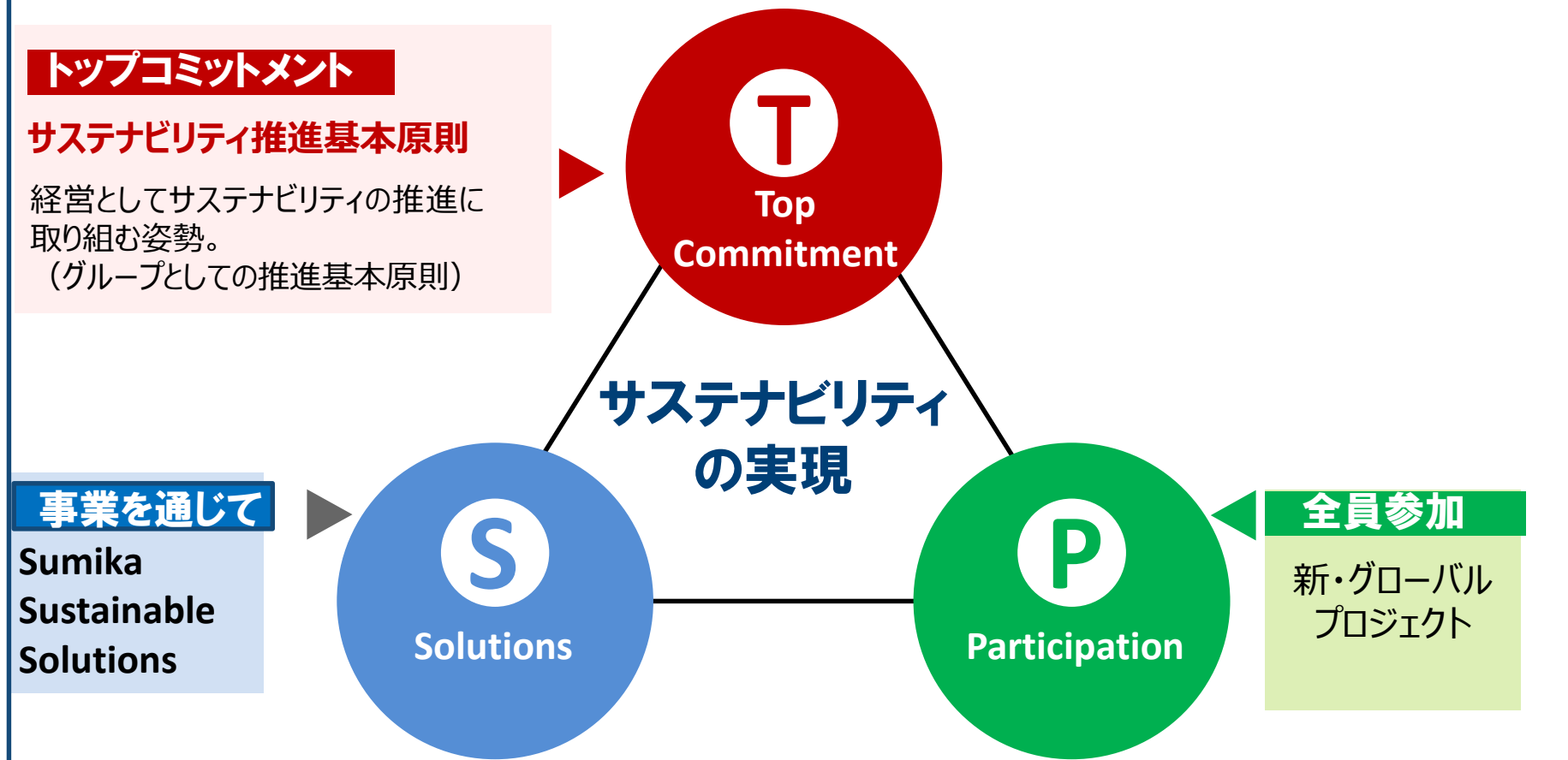




サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ

「**持続可能な開発目標**（Sustainable Development Goals: SDGs）」は、2030年までに世界が取り組むべき17目標を掲げています。

「T・S・P」の三位一体でのサステナビリティの推進

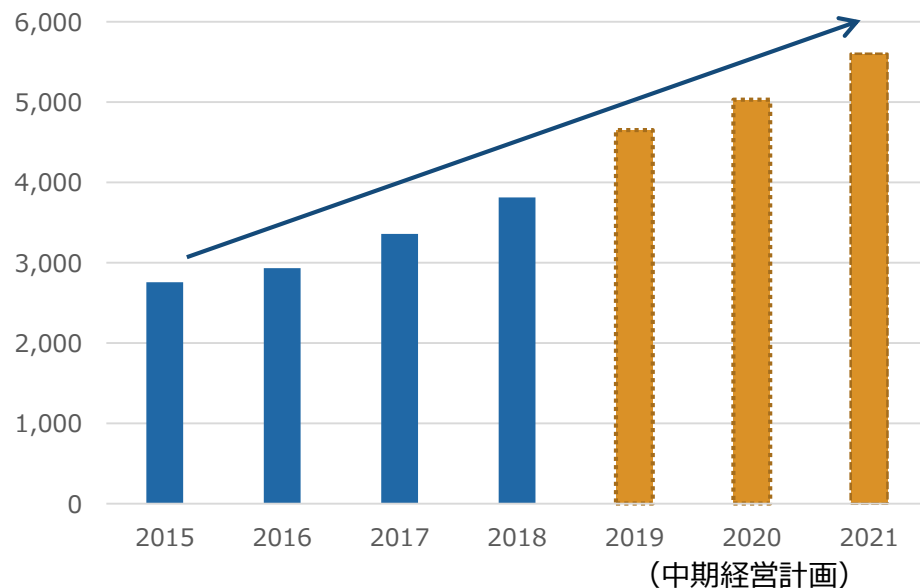


第4回認定委員会を実施

4 製品・技術を追加認定

(累計48製品・技術を認定)

認定製品・技術の売上高



目標：2021年までに2015年度の売上倍増

認定製品・技術の紹介

1

電気自動車の普及に貢献

- リチウムイオン二次電池用セパレータ「ペルヴィオ®」



2

航空機の機体軽量化による燃費向上に貢献

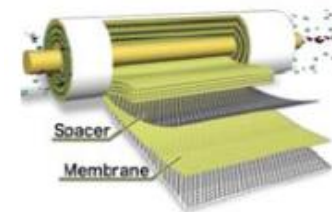
- ポリエーテルサルホン「スミカエクセル®」



3

水素製造などのCO₂分離の大幅な省エネを実現

- CO₂分離膜



4

家畜排泄物中の窒素量を減らし温室効果ガスを低減

- 飼料添加物メチオニン「スミメット®」



「サステナブルツリー」

SDGsの17目標に対して、一人ひとりが「仕事や職場での取組みを通じての貢献」をグループ専用ウェブへの投稿を通じて宣言。

2018年度から、専用WEBサイトの機能を拡充。サステナビリティ総合情報サイトとして「**サステナブルツリー3.0**」をスタート。

期間：2018年6月27日～10月4日
対象：全グループ役職員



<国別投稿件数>

	韓国	日本	米国	ブラジル/ ラテンアメリカ 諸国	中国	台湾	その他	合計
投稿件数	2,663	2,330	845	828	537	315	182	7,700

SBTの認定取得



2018年10月 総合化学企業として世界で初めて認定

Science Based Targets (SBT)

産業革命前からの地球の平均気温上昇を2℃未満にする、2015年に採択された「パリ協定」の「2℃目標」を実現するために企業が気候科学に基づき設定した高水準な目標

認定された目標

Scope 1+2

2030年度までに

30%削減
(2013年度比)

2050年度までに

57%以上削減
(2013年度比)

Scope 3

2024年度までに

主要サプライヤーの
GHG削減目標設定

AEPWへの参画



◆ 活動内容

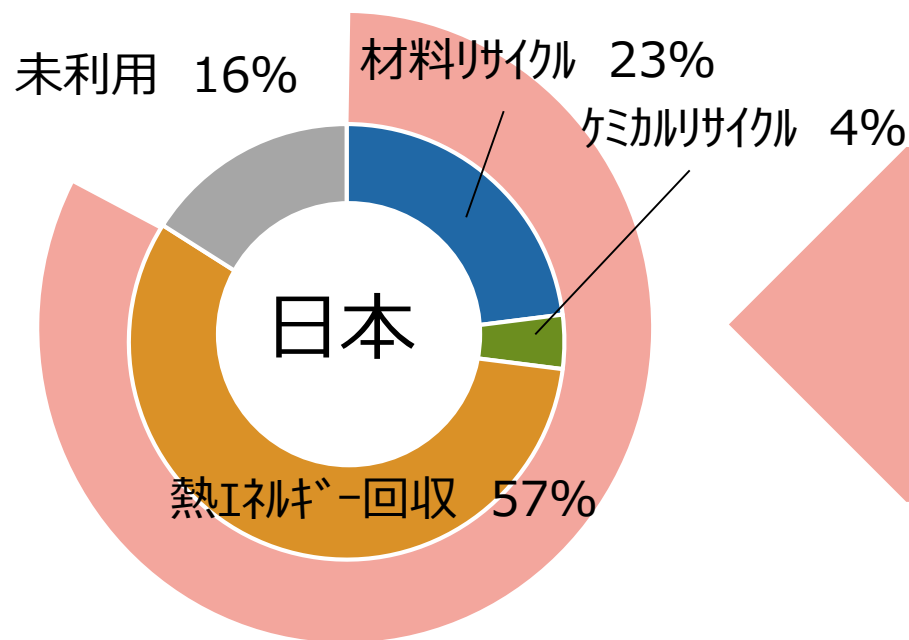
インフラ開発 、イノベーション 、教育・啓発活動 、清掃活動

◆ 特徴

- ・世界各国の企業が参加するグローバルな取り組み
- ・プラスチックに関わる企業全般に関わる企業が参加

◆ 活動費用（全体で 1 5 億ドル）

- ・AEPW自身が実施するプロジェクト（Part A）： 5 億ドル
- ・参加企業がそれぞれ実施するプロジェクト（Part B）： 1 0 億ドル



日本は有効利用率 84%

- EU加盟国・ノルウェー、スイス 72.7%
- アメリカ 25.0%

当社は3R (Reduce Reuse Recycle)に貢献する環境対応製品の開発に注力



詰替用パウチ

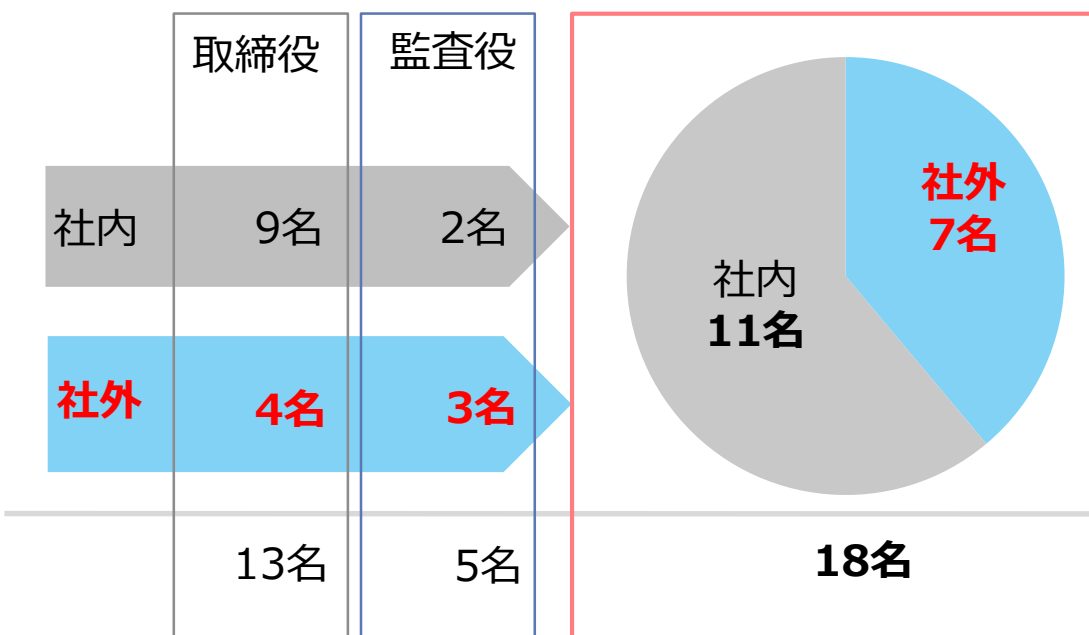
Reduce に貢献
～ボトルより軽い～



通い箱

Reuse に貢献
～繰り返し使える～

取締役会の監督・アドバイザー機能の強化

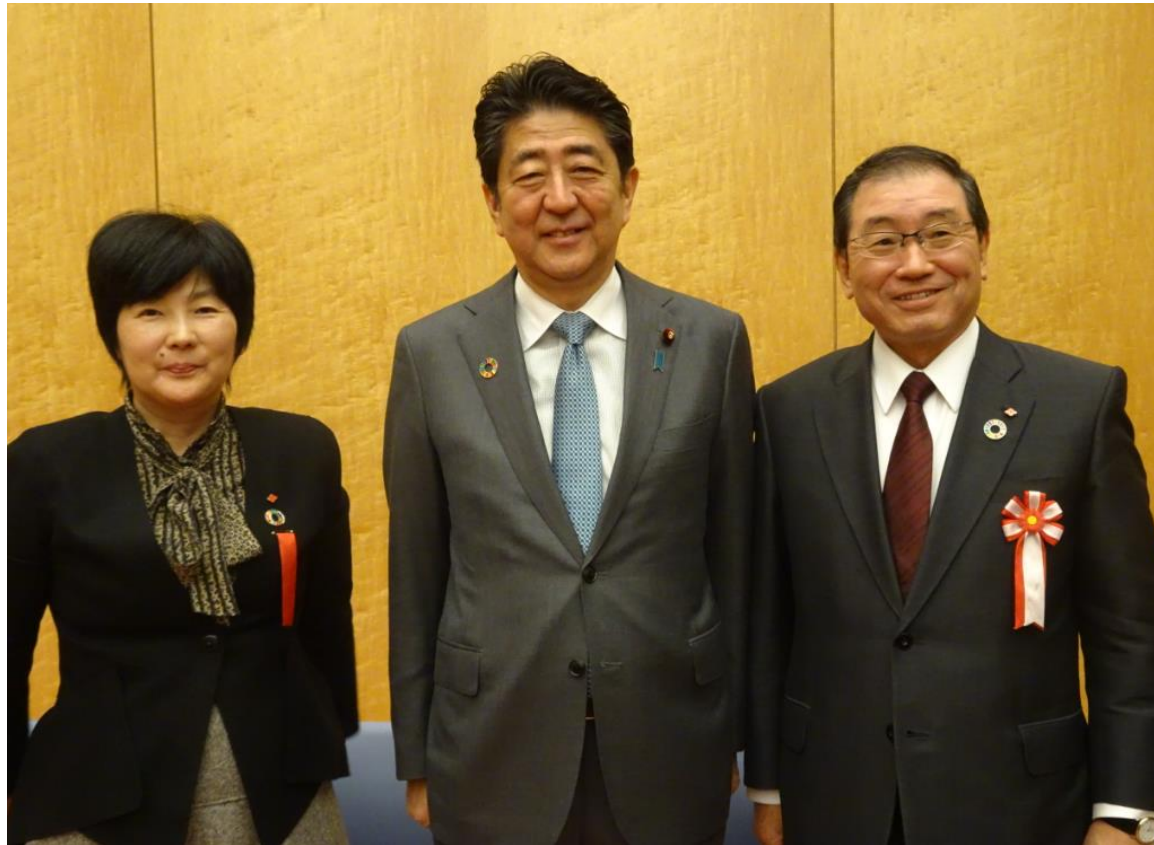


＜当社の社外取締役＞



「ジャパンSDGsアワード」においてSDGs推進副本部長(外務大臣)賞を受賞

住友化学は、第1回目の「ジャパンSDGsアワード」において
SDGs推進副本部長賞を受賞いたしました。(2018年1月)



V

株主の皆様との夢の共有



住友化学は経済価値、社会価値を一体的に創出してまいります



環境負荷低減



食糧問題



ヘルスケア分野



ICTの技術革新



事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献

-株主の皆様とこの夢を共有-

Creative Hybrid Chemistry



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。